

第20回 医療の質・安全学会学術集会

シンポジウム 1 (広報委員会企画)

学術と広報のあいだで：

学会の”知”を”誰”に”どう”届けるか

医療の質・安全において広報を考えてみると、守備範囲が広く、テーマを絞りにくい。誰にとって、誰に向けて、何をとどけるかで、目的や手段も変わってくる。広報委員会としては、まずは、学会会員や学会参加者のニーズに合わせて、継続的な広報活動とは何か、を再考しているところである。

さて、広報委員会は、昨年、初めての学術企画として、「伝えたい、広めたい、患者安全・医療安全」のテーマで、パネルディスカッションを行った。今年は、その後続く、委員会として2回目の企画である。4名の演者で発表を行った後、会場の参加者を巻き込んで、総合討論を行う予定である。広報委員会は、皆様からの広報委員会への要望、意見を集めてみたい。みなさま、乞うご期待。

サステイナブルな質の改善と患者安全

